

第2回 上井出小学校のこどもたちの未来を考える協議会 議事録

○日時 令和8年5月26日（火） 午後7時から8時14分まで

○会場 上井出区民館

○出席

【委員】

渡邊 賢一	会 長	太田 雅人	副会長	内野 裕太郎	委 員
佐野 千春	委 員	高見 亜希恵	委 員	赤池 龍記	委 員
芦澤 秀典	委 員				

【事務局】

遠藤 伸昭	教育総務課長	斎藤 治	学校教育課長
小林 美幸	学校教育課参事	植松 弘美	教育総務課主幹兼総務係長
安藤 昌輝	教育総務課総務係	佐野 航佑	教育総務課総務係
中村 日出和	教育総務課総務係		

○次第

- 1 開会
- 2 議事
 - (1) 再編の方法
 - (2) スケジュール
- 3 次回の予定
- 4 閉会

○会議内容

1 開会

2 議事

第1回の協議会において西富士中学校に小学校を移し小中一貫校にしてはどうかという案に対する改修にかかる建設費用や期間等の説明と、既存校舎を利用した統合を教育委員会案として提案した。

(会長)

今、予算とか開校準備にかかる日数などの説明がありましたけれども、いかがでしょうか。

階段は小学校と中学校で2センチ違うらしく階段は作り直せないということで手すりを付けて補強しなければならない。階段は全部下から作り直さないといけなくて、それは物理的に無理なのかなと思う。そのほかそういう細かいものが積み重ねなって、この金額になっているということで、思ったよりも掛かるという印象です。

(委員)

当たり前の話になると思うのですが、参考の西富士中学校施設を活用した統合にある真ん中の小学校校舎新設の場合というのは、今の西富士中の敷地内に作るという話になると、結局、どこかを潰すことになると思いますけど、やっぱりグラウンドとかも、卒業生なので分かっている所もあるのですが、結局どこかを削るしかなくなるというイメージでいいですね。

(教育総務課長)

ここにお示ししてあるのは、あくまでも概算の概算額になります。積算は平米単価で今の単価で計算しているのですが、補足いたしますとまず小学校の校舎の新設につきましては、この中段にあります、約13億から15億程度の下に新校舎建設費等とありますが、この等というのは、イメージで説明して申し訳ありませんが、例えば土地の取得から、造成、設計施工、引越しなど、それを踏まえています。

なので、現時点ではそういった具体的な、例えば候補地があってという話ではなくて、本当に大まかな校舎をもしこういった計画で統合するとなれば、校舎新設に用地が必要になるのか、それとも今、おっしゃられた所を有効に活用した形でのというのは、今後のもしこういった方針になればそういった所から、計画になるのかなと現時点で考えています。

建設工事の期間なのですが、これ1年から3年程度とありますが、イメージを持たせますと、まず校舎を建設する場合は、基本設計、実施設計と、まず設計が1年かかります。その後造成があって、造成後に基礎工事をやって建物を建てるとなると、先ほど説明があった通り、概ね5年は掛かってしまいます。

それに対しまして、既存の校舎を改修の場合は、もう建物等がありますので、そこまでの日数は掛からないのですが、説明の中で、小学生と中学生とやはり成長期の中で、体格も違うので、階段であるとか、水回りであるとか、細々したものをみんなが安心して使えるような状態に改修しなければならないので、その分コストが嵩んでしまいます。ただ、工

期的には3年程度で見込めるかなというふうに積算はしています。まだ、そういった具体的なものではなくて、この場合はこうしたケースですよということでお示ししていますので、その旨御理解していただければなと思います。

(会長)

中学校の校舎はそのまま一緒に、小学校を足すみたいなイメージですか。

(教育総務課長)

そこまで具体的なものがなくて、実際に西富士中学校を我々の方で、どういった教室があって、どういったレイアウトになっているか、そこに小学校を加えるとなると、小学校に必要な特別教室であるとか、どうしても今の中学校にはないものですから、それを補わなければならないとなると、グラウンドもそうですし、建物もそうですし、全体を考えると、やはりその分コストも日数も掛かってしまうというのが現状ですね。なので、将来的にもしその構想が進んだ中で、現時点では物価が高騰しているのですが、その物価の高騰もまだ見込みがわからない状態なので、もしかしたら単価もその分上がる可能性はあるのかなというふうに思います。

(会長)

東小は、いくらかかっているのですか。

(教育総務課長)

東小は、既存の建物を解体いたしまして、当然こどもたちの学びの仮設の校舎を設置してグラウンドを削って新校舎を建てています。そうすると1年ではとてもできないので、2から3年の計画の中で、ただ、全て供用開始となると、仮設校舎の撤去から、敷地内の整備となると、やはり5年ぐらいは掛かってしまいます。

(委員)

費用はこれくらい掛かるということは頭に入れておきながら、我々の立ち位置としては、こどもたちの未来を考える協議会ということですので、この地域、それからこどもたち、そういう将来に向かって何が一番有効かということをご提案する、そういう協議をするということですから、予算は理解しましたが、この協議会としての考え方をまとめればいいのかと思います。

それから、せつかく費用が書いてあるから、普通は公共事業のインフラというのは50年ぐらいたら更新しなきゃいけないということで、自治体というか、市で例えば公共施設の総合管理計画がホームページに載っていますよね。そこで何年後、それを都度見直したりしますということでやっているから、50年経ったら、例えば学校はもう建て直しになりますとなると、大体その基金を積んでいきますよね。普通の民間企業は将来の大きな施設にお金が掛かりますとなったら、引当てをして積み立てることを会計上するのですよ。ですから今回これ何億円かかります、例えばどこかの小学校を新しく建て直すと言ったら、その時、何十億掛かるから財政支出が増えると、財政が破綻しちゃうので、富士宮市も大きな基金の中には入っていると思うので、我々の協議の中では、そこから流用すればいい話だし、2校が1校に一つの建物になるのなら維持管理費も減るし、その基金自体から取り崩せばいいだけの話だから、あんまりここでいくら掛かりますというよりも、そう

いうことを頭に入れながら、一番良いことを考えればいいと思います。

(委員)

一応教育委員会の提案で上井出小か白糸小かということで、結局この提案というのは費用が掛からないということですか。

(教育総務課長)

実際に、この再編について費用で見るとどうなのか。ここでお示ししているのは、先ほど会長の話もありましたが、学校再編については、計画を今年度策定します。中長期の市のこの再編についてのロードマップを作りまして、それに沿った形で再編を組んでいくのですが、この提案する1と2は、既存にある建物がまず安全に使えるというのがあります。こどもたちの少子化の今後の動向というの、このままの見込みは減少傾向でありますので、その計画の中で段階的に、やはり時代の流れとともに、学校のこどもたちの数も変わってくると思いますので、現時点で、短期で再編を考えた場合に、教育委員会が提案する既存の建物にまず編入するのか、もう一つの案は新しい学校というのは統合ですね、これを提案したいなと考えています。

(会長)

たぶん白糸の方は、来年から複式になってくる。こちらは2年後なのでちょっとゆとりが正直あるということもわからないですけど、向こうは来年からなので、できるだけ早くしてもらいたいという感覚だと思います。

それらを踏まえて、これをこちらにすると時間が掛かるけど、こちらは時間が掛からないというような諸々を考えると、今のこどもたちにどれが一番いいのかという提案していきたいというのがあって、できれば複式は避けたいという親御さんたちの御意見があれば、できるだけ早めに進んだ方がいいのか、他の案では駄目なのか、そういう諸々踏まえて、実際にお子さんがある方たちはどう思っているのかなというようなことを役員として吸い上げてまとめて、来年の人たちに引き継いでいきたいなという感じもあるので、大人の事情からすればこの図の1の案が早いと思うのだけれど、実際に上井出小に来てもらって、来年からでも即オープンというのがよいのかもしれないですけど、実際にはこどもがいるので、どれがいいのかというと、実際に保護者の方々がどう思っているのかというのが重要で、ちゃんと意見を言ってもらって、地元の意見としてまとめて提案した方が、流れとしていいのかなと思います。

(委員)

1という話にはなっていないと思う。

(会長)

具体的な話で、予算と時間が出てきたのですが、タイムスケジュールもあるので、しよろしよろしている間にこどもたちが卒業してしまうという話も出てきてしまう。

(委員)

まずは統合しておいて、そうすれば複式にはならず、それと同時進行で校舎を作る。しかも将来はこういう方向になっていきますという展開が望ましいとこの前おっしゃっていたように議事録上には書いてあった。

(会長)

リフォームだけで5億掛かるとは思っていなかった。

(委員)

それはたいしたことではないのですよ。

(委員)

教育には金が掛かると大昔から言われている。実際に金掛けないでやるというそれ自体がどうなのか。

(委員)

財政部が来ていないから公共設備の総合管理計画というのを作った方がここには来ていないからわからないけど、実際基金をどのぐらい積んでいるとか、それはどうなっているとか、それをまた別で説明してもらってもいいぐらいだと思う。

(事務局)

財政部も来てないってということで、2年前まで財政部長6年ほどやらせていただきました公共施設再編計画を作成してもらいましたけど、お金のことはということですけど、ざっくりばらんに言えばこちらからすると語弊があるかもしれませんが、なるべくお金が掛からない方がいいなどは当然思いますけれど、ただ先ほどおっしゃっていたように学校施設整備基金とていうのがあって、現在20億円くらいありますけれど、ただ、それも校舎をただ単に改築するためだけに積み立てているだけじゃないので、それからあと現金だけじゃなくて、起債、要は借金ですね。20年30年返済の起債や補助金を活用できるので、まるっきり現金で用意しとかなきゃならないというわけではありません。

どこまでお金を掛けるというのは、また御議論いただければと思います。一番お金が掛からない方法としてはという説明を教育総務課でさせていただいています。

(委員)

あと何年かすればこの地域のこどもの数はどんどん減って、北山などの地域と統合というのも絶対考えないと学校の存続は成り立たないと思う。

そういうことももちろん教育委員会は考えて、やはりこの最初の既存小学校に統合すべきじゃないかという、そういう結論に至ったわけですね。

(教育総務課長)

はい。委員さんおっしゃる通り、1回目の会議の中でもそのような内容の御意見等が出ていると思うのですよね。

先ほど、短期でのということ、あくまでも現時点で短期の計画の中で、この①の教育委員会の示す案がありまして、中長期になるとやはり時代の流れとともに、少子化の状態、状況も変わってくるので、変わってくればまた当然そこで見直さなければならないということなので、そこで段階的かなと感じています。

教育委員会が示すのは、先ほど説明した通り、①、②でいきたいというのが考え方です。

(委員)

もし、そういうことを考えると、白糸小と上井出小は年数的にはどちらが古いのかな。

(教育総務課)

白糸小ですかね。

(委員)

3次計画で更新が必要なのは白糸小。4次での更新が上井出小。市は今回耐震性を上げるのと長寿命化ということでお金を掛けていて、それで少しずつRCにして50年60年ともう少し長寿命化にしておいて、少し期間を延ばして引当するものを減らしましょうということで、もう発表されてるのは令和8年の学校再編を決めて、そこでもう1回この資料を作り直したいみたいなことが書いてあった。令和8年の時に、市全体の学校関係をまとめようというのが市の考え。当時の設備や財政の考え。だから我々の意見を反映させたいと思って、まず意見を出した方がいい。

(会長)

複式の話が出ている中で、これを見てどうなのかなと思って、どちらが子どもたちのためになるのかなと考えてもらえればいいのかと。

(委員)

ここで我々は過去にも責任があるし未来にも責任がある。そういう立場で、地域性がこうだからこうしてほしいという意見を言うべき会議の場だから。

(会長)

日程とか考えて、どちらがベストなのかという感じになるんだけど、2年後に複式になることが、すごく現実的で、そこから多分続いてくると思うのですよね。

(委員)

まずは一旦どちらかに行って複式を解消して、その間に統合しましょうかという話。

(会長)

もうちょっと我慢して、小中一貫教育に移行するのは、地域としてどう思うか。保護者の方はどうですか。

(委員)

児童数を見ると、令和14年に3校足しても72人しかなくて、その時点で統合しても複式学級が出てくるのではないのかなとぱっと見た数字だけでも思うのですが、どうなのでしょう。

(委員)

一時しのぎ的過ぎるということですよ。

(委員)

そうですね。統合したところで、5年10年経ったときに、また複式が出てきてしまう。

(委員)

西富士中での小中一貫校は、もう作る方向でどんどん動いてもらうのが、まずいいと思う。白糸と上井出がくっつくというのは一時しのぎで、数年の問題で、人穴を足しても数が知れたものみたいな感じになると思う。結局、西富士中に小中一貫を作るのが決まっていると思うのですよ。なので、それをどんどん進めてもらって、それまで3年とか、場合によってはもっと掛かると思うので、我々としては、子どものためにと考えたら、早く小中一貫のいい学校を作ってくださいというお願いですね。

一時しのぎは、白糸小がもうすぐ複式になるのを回避したり、上井出は再来年後ぐらいなのかな、それをどうやって回避するかというのは別問題で、もう西富士中に小中一貫校を作るといのは、お願いしますという方向でいいと思う。学校が一番重要なので、上井出的にも白糸的にもベストだと思う。

(委員)

先ほど、会長さんがおっしゃったように、並行して動いているところがあると考え、教育委員会は費用のことは考えちゃいけないかもしれないけど、北部というエリアで10年後20年度を見据えた上で、新校舎を作るといよりは、この案がいいのではないかと出してきたのではないかと思うのですよ。

ただ保護者的に考えると、西富士小中一貫の方が、西富士地区としては残して欲しいなと思うので、お金とかそういうものではなく。ただ複式を解消したいと思っているのは白糸も上井出も一緒だと思う。そこでどちらに動くかといくと、たぶん白糸も動きたくないと思うし、上井出もこちらに来てほしいと思うのですが、個人的には、上井出に来た方がベストじゃないかと思っています。

確かに、白糸では、卒業証書を作成したり独自のことをやったりとか、棚田とかイベントとかやって、白糸小として独自でやっているからこっちに来た方がいいじゃないかって思ったりするのですが、上井出小のある先生がおっしゃったことがあって、北部で人数が少なくて大変ですよって言ったなら、いや僕は上井出小に務めさせていただいて、すごく助かっていますって言われたのが、小さなことかもしれないですけど、上井出小学区に教育の場として、西富士図書館があったり、消防施設があったり、若獅子の塔があったり、交番もできたりするので、勉強する上で、町の方まで行かなくても、こどもたちに勉強させるとなると徒歩で行ける所がいっぱいあるのですよ。そう考えたときに、白糸の方に移動するといろんな意味で大変なのかな。まず小学校として残すのであれば、上井出小に移動してもらいたいなと思う。白糸に行くのが嫌なわけではなくて、こどもたちの教育する環境としてこちらに来ていただいた方がいいのではないかと。

あとは、人穴の方に学童がないので、上井出の学童に入ったりしているので、そういう意味で考えれば、是が非でもじゃないですけど、上井出にまとまってくれた方が、いろいろな面でいいのではないかと思います。

(委員)

私も小中一貫ぜひ進めていただきたいなというふうに思います。

なるべく早く複式学級になるのを避けるようにして欲しいのと、既存の校舎を利用しながら並行して、小中一貫を進めていただくという案に賛成です。

ただやっぱり西富士小中となった場合、またそれも、どんどん減ってくる可能性もありますよね。それが何年先なのか、自分たちのこどもたちはもしかしたらもう卒業しているかもしれないけど、その先のこどもたちはまた同じようなことが起きてきて、そうなる、またさらにお金が掛かると考えると、市はどういうふうに考えていらっしゃるのか。前に話にも出たと思いますが、もっと大きなエリアの中で、小中一貫というのは考えていった方がいいのではないのかなというふうに思ったりもしますが、そうなる、また時間が掛

かったりするのかな。なるべく早く進めてほしいという思いと、もうちょっと先の部分まで見て、なるべく良い環境で子どもたちが学習できるようになってほしい。学校が小さいと担当の先生が少なくなって専門的な知識が教えられなくなるというふうなところで、子どもたちが学習する機会が少なくなるのは、すごく嫌なので、学校が小さいから先生が少ないから、その学習ができないというのは、嫌です。

(会長)

先に来てもらって、その間に工事進めてきたりすることはできないのですか。この中に選択肢に入れることはできないのですか。

例えば、そうすると最低でも5年工事にかかっても、残りの5年は小中一貫で過ごせるというメリットがある。最初に複式も解消できるし、工事が終わったら引越して、小中一貫になるのは効果的ではないのか。

一つの案としてはできないのでしょうか。

(教育総務課長)

本日、お答えすることはしかねます。皆さんの御意見を聞いて、ゆくゆくは一貫であるとか、あるいはスピード感を持ってだとか、同時進行という、いろんな御意見、案があると思いますので。ただ、いずれにしてもコストは必ずつきます。その辺は当然我々の方で考えるべきなのですが、本日は教育委員会としては、案をお示ししまして、それについてご意見を聞いて、上井出のほかに地区協議会がありますので、その御意見も整理しながらになります。

(委員)

西富士中の、例えばトイレにしても古くて、改築はもうすぐにでもやらなければいけない状態にあって、直すにしても何にしても早めに動かなければいけない。

我々の意見は複式を回避することを早めにやってもらい、その間に統合に向けて西富士中の建物を改修になるのか、新築になるかはわかりませんが、その方向で進めていくというのが会長のまとめの話ですよね。

(会長)

話を聞く限りではその方がいいのかなと感じている。

あとは、どうものスケジュールの話もあるので、資料の説明をお願いします。

教育委員会提案の既存校舎を利用した統合についてスケジュールの説明を行った。

(会長)

もっと早めにはできることはあるのですか。

(教育総務課長)

提案の①と②のスケジューリングを説明させていただいたのですが、補足いたしますと、まず①であっても②であっても、この協議会で、市の提案で方針決定すれば、今年度において、まず①については、協議会の中でさらに詰めていく。令和9年度には統合準備委員会というものを発足させまして、そこには実際に、教職員も入った形で具体的な開校に向けての準備になりますので、そういった流れになります。備考欄をそれぞれ設けてあるの

ですが、それに伴って市としては、どうしても自治法、要は条例がございますので、そちらの事務手続きも並行して、改正していかなければなりませんので、それを示してあります。なので、編入の場合はどちらかの小学校に編入するという事で、1年間短縮になって、②は両方とも、廃止して新たな学校を設置というイメージにすると、さらに1年間、要は2年間の準備期間がかかるということで、その分1年間多いということになる試算をしていますので、その違いがあります。

スピード感を先ほどから我々申し上げているのですが、いずれにしても、どちらの案を取ったとしてもこのスピード感というのはこういったスケジューリングで準備とそれに伴う事務手続きが並行して一緒に動く形で考えています。

(会長)

名前が変わる場合でもこれが最短ということですね。

(教育総務課長)

そうです。名前とおっしゃっていましたが、新しい学校となると、学校の校章であるとか、学校の校歌、そういったものも全て入ってくるものですから、我々と教職員も入って地域も入って、それを確認しながら準備をしていくというようなイメージであります。

(会長)

小中一貫は校歌というのは一つなのですか。

(教育総務課長)

我々もそこまで情報収集していませんので、情報収集してみたいと思います。

(学校教育課長)

制度上は別の学校です。小中一貫校と言って、一つの学校、学園という形で小中一貫校としていますが、学校としては別物なので、校長も2人置くこともできますし、教頭を松野学園についても、小学校と中学校に1人ずつ置いているので、別の学校として考えていただければと思います。

(会長)

沼津の方には、7年生と8年生みたいな所もあったと思うが、あれは二つになっているのですか。

(学校教育課長)

そうですね。義務教育学校というのは県内に3校しかないのですが、その義務教育学校になると一つの学校になります。富士川第二小中は、小中一貫なので形としては別の学校が一つの校舎で学んでいるという形になります。

(委員)

一度確認したいのだけど、今皆さんのお話だと、上井出小か白糸小を利用して何年かやると、その後小中一貫校にする考えということですよ。

(会長)

そうですね。準備してもらって、完成次第移るということイメージになりますね。

(委員)

地域性は、小学校時代から離れていて、歴史ある地域性でもあるので、最後はそっちに

行きますよというふうにして、それでもこの期間だけはしょうがないから、こちらに来てくださいと納得感を地域の人に出してもらいながらやっていくと地域の理解も得られるのでは。ただ、何年後というのがわかっていないと理解も得られない。そういったことを丁寧に説明していただいて理解をいただいて進めると。市もこれをモデルにしましょう、ぜひ進めましょうというのがいいのではないですかね。

(委員)

今後、小中一貫校となったときに、もし一緒になったとしても令和14年には複式学級になるかもしれませんよね。もう明らかに人数がどんどん減っているじゃないですか。

(委員)

だからそこを考えないと、せっかく作っても、子どもたちがいなければ、そこは潰れてしまう。将来的には北部エリア全体で一緒にならなければいけない。

そうするとせっかく作っても宝の持ち腐れになる恐れがありますよね。

(会長)

5年掛かって作ったとしても、5年くらいは小中一貫でやっても、そのあとまた統合ということになってしまうかもしれないですね。

(委員)

数字だけ見るといずれ複式学級の心配が出てくるのかなと。

(会長)

一応その先を見据えて、地域が過疎化、高齢化し過ぎてしまっているんで、できるだけ良い方向に長く持続していけるような感じで考えていかないといけないですね。

(委員)

白糸の方ではどういう意見が出ているのですか。

(事務局)

第1回目の白糸でもこちらと同様、西富士中あたりの小中一貫というのがいいねという御意見が出されていました。

明後日、開催する第2回の協議会の際には同じ資料をご提示させていただきまして皆さんに御意見を伺いたいなと事務局としては考えております。

(委員)

教育委員会の提案1と2があって、先ほど2の名前変えたり、校歌を作ったりとおっしゃっていましたが、一時的に一緒になったとして、その後小中一貫校になったとしても、また同じことをするのですか。

(教育総務課長)

そうですね。まず小中一貫校は置いておいていただきまして、今、教育委員会がこの2案をお示ししていただきまして、先ほども少し触れましたが、この地区だけではなくて、富士宮市内についての再編について計画を作らなければならなくて、その計画に沿った形で進めるというのが前提になります。その計画は大まかに言うと、短期、中期、長期とありまして、例えば20年間の計画を立てて、それぞれの状況に合った形で進めていくような形になりますが、先ほどもお話があった通り、短期においてこの地区を仮に編入あるいは統合

しても、今後、少子化が進むにあたって、他のエリアも同じなのですよね。先ほどお話があったこの下の北山であるとかそういった部分、こうなるとか、あるいは違う方法であるとかという部分も考えていかなければならないと思います。

その辺を計画に整理した上でまとめて、今やっけていただいているのは、各地域のこの協議会、これを通じて整理していかなければならず必須となりますので、そういった形で市は考えています。

(委員)

1の編入については、上井出、白糸という名前を残したまま動かすのは、無理ということですよね。どちらかに編入しなければいけないということですよね。

(教育総務課長)

その方針がこの上出地区、あるいは白糸地区の協議会を通じて、皆さん①の案でいきたいと思いますとなれば、今後において白糸がございまして、例えば、白糸の協議会と突き合わせをすることという作業も考えていかなければなりません。今は教育委員会が、本日、この2案をお示しして、どちらかもしあればと思ひまして、あくまでもこの参考というのは、1回目に皆さんから御意見いただいた中で、どのぐらいになるかということも参考にお示ししますよということでしたので本日、概算であります御説明した。本日は一番左側の教育委員会の提案について御説明をさせていただきたかったものですから。

(会長)

今回は、どちらかに編入して、その間に小中一貫校を準備してもらおうというイメージでまとめとしてよろしいでしょうか。

(教育総務課長)

教育委員会のこの2案について考えた場合に、皆さんどちらがというのはおありなのでしょう。①と②であれば、どちらの方が地域あるいは子どもたちにとってよいかということ。

短期のうちに複式を解消しつつ、子どもたちの教育の場を良くするというには変わらないものですから、①と②であれば皆さんどのような考えかをちょっとお聞かせ願えればと思います。

(委員)

事例としてどうですかね。小学校が合体するに当たり、新しい名前とするのかそうでないのか。

(教育総務課長)

統計上は出していませんが、やはりそこはそれぞれの自治体とその地区の考え方によるものだと思います。

(委員)

本音を言えば①だと思いますよ。それぞれ名前は残したいなと思いますよ。

(委員)

もし、どちらも平行線で、どちらも残してくれとなった場合に、決定するのはどういうふうな判断で決定されるのですか。

(教育総務課長)

具体的に今申し上げることはできないのですが、今、協議会ごと単体で動いているので、例えば上出地区で①だよ、白糸でも①だよとなった場合に、やはり何故という部分があると思うのですよね。もう少し突っ込んだ地域性も含め、それを吸い上げて、先ほど申し上げたように、上井出、白糸と付け合わせというか、そういった部分の必要性もあります。具体的な手法というの、教育委員会の方で同時に考えていかなければなりませんので、その辺は当然しっかりと我々も考えていきますのでその都度お伝えもしますし、また御意見も聞き、お聞きしたいなとは思っています。今は、この協議会の中で市が提案するものについて、どういうふうにするかをお聞きしたかったものです。

(会長)

平行線の場合、1年以内に決めるとなると、最終のデッドラインはどのくらいなのか。

(教育総務課長)

あくまでも、今おっしゃられたことについてはそこまではまだ決めてはいません。

ただ、この協議会で示したスケジュールというのは、①又は②とした場合に、この1年2年もしくは3年でいきますという流れになっていますので、当然もしかしたらもう少し伸びるかもしれませんが、逆に、もっと早くできる可能性もあるのかもしれませんが今はその見極めができません。

(委員)

ここの出身ではないので、どちらがいいとかという思いはあんまりないですけども、やっぱり子どもを通わせるときに、どの時間帯にスクールバスが回ってくれるのかなという所がすごく気になる所です。仕事に行くのに待ってられるのかだとか、白糸になった場合には遠くなるので、やはりその辺が気になります。それが早い時間帯に出発してもらえるのかということも、すごく親としては気になります。

(教育総務課長)

おっしゃられる通りだと認識しています。この再編については、今おっしゃられた部分、当然子どもたちの通いも考えなければならないので、今日出席していただいている学校教育課ともスクールバスについても実際にもう協議に入っていますので、ただその協議もこういった方針が立てられないと、スクールバスの運行であるとか、ルートであるとか、細かいものも出てこないものですから、ただ案としては考えることもできますので、それは市も一緒に考えてお示ししたりして、そういったふうに進めていきたいなと今は考えています。

(委員)

どちらにしても教育環境の改善だけじゃなくて、安全性とか交通の便とか道路事情がどうなるかそういうのをそろそろ最終的には考えると思いますが、そういった所はどうなのですか。

地域の方でちょっと収拾がつかないというときに、最終的には教育委員会でまとめてどちらかになると思いますが、最終的に決める、その辺の基準というのは、こういったこと

を考えていますか。

(教育総務課長)

最終的な手段というのは、今具体的なものはありません。

今は、皆さんの意見を集約してまとめていくことで、御提案申し上げていますので、その辺は、この先のことでありますが、ある一定の時期が来ればそういったことも示していかなければならないというふうには感じています。

(会長)

ありがとうございました。第2回目はこれくらいでよろしいでしょうか。夏頃、白糸の方から調整したいというようなことを言っていたので、水面下でどんな感じかというのを会長、副会長くらいで意見交換したいと思いますけど、それを踏まえて第3回を迎えたいと思います。

本日の議事の方は終了させていただきます。ありがとうございました。

3 次回の予定

第3回の日程を8月上旬とし、後日調整することとした。また、時間帯は午後7時、場所は上井出区民館とすることに決定した。

4 閉会

(副会長)

皆様、本日はありがとうございました。

以上を持ちまして、第2回上井出小学校のこどもたちの未来を考える協議会を終了いたします。